

# 平成 19 年度前期日程入学試験学力検査問題

平成 19 年 2 月 26 日

## 数 学 (文系 医学部保健学科看護学専攻)

志望学部／専攻	問題選択の指定	試験時間	指定答案紙
文 学 部 教 育 学 部 法 学 部 経 済 学 部 医学部保健学科看護学専攻	4～5 ページの ①, ②, ③, ④ を解答すること。	10:00～11:40 (100分)	①, ②のマー ク用の紙 (各表・裏)

### 注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子、答案紙を開いてはいけない。
2. この問題冊子は、5 ページである。問題冊子の白紙のページや問題の余白は草案のために使用してよい。なお、ページの脱落、印刷不鮮明の箇所などがあった場合には申し出ること。
3. 解答は、必ず黒鉛筆(シャープペンシルも可)で記入し、ボールペン・万年筆などを使用してはいけない。
4. 答案紙の受験記号番号欄(1枚につき2か所)には、忘れずに受験票と同じ受験記号番号をはっきりと判読できるように記入すること。
5. 解答は、必ず答案紙の指定された箇所に記入すること。
6. 答案紙を持ち帰ってはいけない。
7. 試験終了後、この問題冊子を持ち帰ること。





前期：文学部・教育学部・法学部・経済学部

医学部保健学科看護学専攻

1  $n$  を 2 以上の自然数とし、整式  $x^n$  を  $x^2 - 6x - 12$  で割った余りを  $a_n x + b_n$  とする。

- (1)  $a_2, b_2$  を求めよ。
- (2)  $a_{n+1}, b_{n+1}$  を  $a_n$  と  $b_n$  を用いて表せ。
- (3) 各  $n$  に対して、 $a_n$  と  $b_n$  の公約数で素数となるものをすべて求めよ。

2  $\angle C$  を直角とする直角三角形 ABC に対して、 $\angle A$  の二等分線と線分 BC の交点を D とする。また、線分 AD, DC, CA の長さはそれぞれ 5, 3, 4 とする。 $\angle A = \theta$  とおくとき、次の問いに答えよ。

- (1)  $\sin \theta$  を求めよ。
- (2)  $\theta < \frac{5}{12}\pi$  を示せ。ただし、 $\sqrt{2} = 1.414\dots$ 、 $\sqrt{3} = 1.732\dots$  を用いてもよい。

3  $xy$  平面の 3 点  $A(0, 0)$ ,  $B(2, 0)$ ,  $C(1, \sqrt{3})$  を頂点とする  $\triangle ABC$  に対して以下の問いに答えよ。

- (1)  $0 \leq a \leq \sqrt{3}$  を満たす定数  $a$  に対して、点  $P(x, a)$  が  $\triangle ABC$  に含まれるための  $x$  の範囲を求めよ。
- (2) (1) の定数  $a$  に対して、(1) で求められた範囲を  $x$  が動くとき、 $AP^2 + BP^2 + CP^2$  の最小値と、そのときの  $x$  の値を求めよ。
- (3) 点  $P(x, y)$  が  $\triangle ABC$  に含まれるとき、 $AP^2 + BP^2 + CP^2$  の最小値と、そのときの点  $P$  の座標  $(x, y)$  を求めよ。

4 関数  $f(x)$  が

$$f(x) = x^2 - x \int_0^2 |f(t)| dt$$

を満たしているとする。このとき、 $f(x)$  を求めよ。